

# 3.11 を忘れない！

2011年3月11日の東日本大震災から3年。

未曾有の大災害の中、障害のある人の生死を分けたものは何か？

ようやく逃げ延びた人たちが待っていたのは、過酷な現実・・・避難所で「出ていけ」と罵声を浴びせられた精神障害のある人たち。床に寝ることができず16日間車いすに座り続けるしかなかった女性。避難所指示区域に5日間取り残された全盲の女性・・・

新たな大災害の可能性が指摘される中、震災を経験した当事者、関係者の姿を通じて、自分の命を守るために、大切な人の命を守るためになにができるか、それぞれの立場で一緒に考えてみましょう。



【と き】 4月7日（月） 19：30～21：20

【ところ】 廿日市市総合健康福祉センター  
（あいプラザ）3階 講座室

【参加費】 無料

【内 容】 19：30～20：10 DVD 上映

「いのちのことづけ」  
～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11～  
（監督・脚本 早瀬憲太郎）

20：20～21：20 意見交換

申し込み不要  
どなたでも参加で  
きます♪

主催 : 広通研佐伯ブロック  
共催 : 佐伯地区ろうあ協会  
: 廿日市市手話通訳者連絡協議会